

基本方針1 大阪府立図書館は、市町村立図書館を支え、大阪府全域の図書館サービスを発展させます。

重点目標 1-1	府域市町村立図書館へのより効果的な資料および情報の提供を行い、図書館間相互の連携・協力を強化します。			
評価 (25年度)	○	【評価の理由】 協力貸出冊数は目標値に届かなかったものの、協力車による市町村間物流冊数は目標を大きく上回った。26年度は、大阪市立図書館との物流強化を予定しており、このことにより府内全体の相互貸借の活発化が見込まれる。あわせて実施予定の搬送コースの再編に向けた検討を進め、今後の搬送量増加への対応を準備することができた。市町村間貸借資料の分析と市町村のニーズ把握を一定程度進めることで、資料の収集や帯出区分の緩和に際し、より現実的・効果的な選択をするための基礎的情報を得た。		
重点指標	24年度末 実績	目標	25年度末 実績	進捗(□は中間結果)
協力貸出冊数(市町村)	66,756	毎年 67,000	62,879	
協力車による 市町村間物流冊数	30,140	最終年度に 30,000	[32,044]※	[16,022] (25年4-9月)
※平成25年9月までの実績をもとに算出した推定値				
【アクション・プラン】				
	取組み		達成状況	
平成25年度	(1)協力貸出の、貸出対象範囲に関する検討結果を踏まえ、帯出区分の緩和を試行 (2)協力貸出／市町村間物流の資料分析 (3)次期搬送業務委託(H26/10～)に向けて仕様の検討		(1)一部の参考図書や合本雑誌等協力貸出対象範囲拡大を実施 (2)市町村間貸借資料の分析を試みると共に、府域図書館対象に協力貸出等に関するアンケートを実施 (3)搬送コース再編や大阪市内との搬送緊密化に向け府域図書館と調整、仕様を具体化	
平成26年度	(1)メーリングリスト・協力貸出担当者連絡会等を通じ、利用増に向け周知を図ると共に、府域図書館のニーズを引き続き調査 (2)検討結果を踏まえた最終調整と搬送コース再編実施 (3)大阪市立図書館との物流の強化			
平成27年度				
【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入)				
・協力貸出の一層の増加に向け、平成24年度に行った検討を踏まえ、帯出区分の緩和(試行)を行う。 ・上記施行結果を含め、どのような資料が協力貸出や相互貸借で利用されているか、府内他館の協力を得て分析を行う。 ・協力車の搬送量は一貫して増加傾向にあるため、平成26年10月からの搬送業務委託契約に向けて、仕様の検討(搬送コースの再編、大阪市内との連携強化も含む)を行ない、予算確保に向けて努力する。				